



白川村 未来地図



未来へ向けて何ができるだろう？
未来のために何が残せるだろう？

白川村 第2次総合戦略（後期）概要版

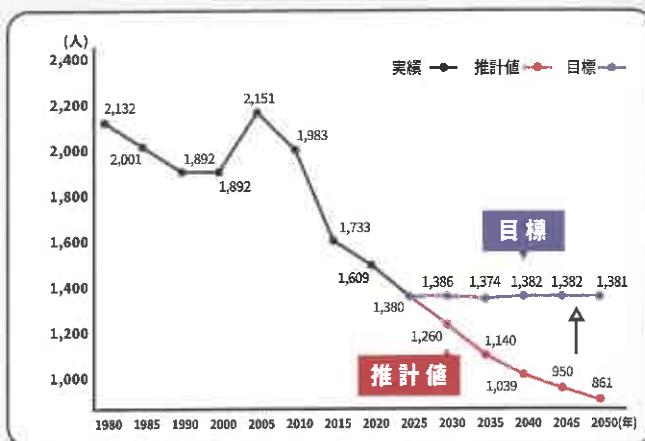
人口が1,000人を切る推計!?

〔 人口推移 〕 POPULATION



- 1 白川村の人口は長期にわたって **減少傾向**
- 2 過去10年の傾向では
 - ① 年間10人程度の **自然減少** (死亡が出生を上回る)
 - ② 年間13人程度の **社会減少** (転出が転入を上回る)**= 年間23人減少**
- 3 現在のペースで人口減少が進めば、
2045年には村の人口は **1,000人** を割り込み、
2050年には **800人台** に…。

白川村の人口推移



人口減少の進行で村に起きうる事態

このままでは「白川村」が維持できなくなる!?

- ✓ 白川郷学園が存続できなくなる!?
- ✓ 世界遺産合掌造り集落の継承が不可能になる!?
- ✓ 祭りなどの伝統行事が維持できなくなり文化の衰退を招く!?
- ✓ 福祉サービスが維持できなくなる!?

先人たちの尽力によって引き継がれてきた、
この類いない白川村らしさを未来まで結ぶ
ことが白川村のありたい姿であり、
そのためには**人口の維持**が何よりも重要

〔 課題認識 〕 RECOGNITION OF ISSUES

→ 多様な価値観との共生と担い手不足

新しい価値観への対応、クリエイティブな発想を持った担い手確保、
移住者の受け入れ及び移住者の地域コミュニティへの参加促進など

→ 観光と住民生活との両立

村の基盤産業である観光を持続可能なものにするためのマナー啓発、
地域の安定的な経済循環をもたらすための六次産業化、体験・滞在型観光の充実など

→ 住環境の整備

公共交通機関などの交通インフラ、出産前から学校教育に至るまでの連続した医療・子育て支援、
村内施設の整備、移住者の住居の確保、良好なコミュニティと自分の時間の確保など



課題を解決し、持続可能な村を作るための目標を設定

数値目標
&
基本目標



人口は維持以上を目指し、持続可能な村をつくる

数値目標:人口 (2029年)住民基本台帳ベース **1,450人** / 国勢調査・県推計ベース **1,380人**
(2024年4月1日現在:住民基本台帳ベース1,475人)

基本目標

- ✓ **ひと** 多様な価値観の尊重と実践 ~白川村を想う人づくりと強固な移住定住支援~
- ✓ **しごと** 観光の「量から質へ」 ~「産業」としての育成と、観光と住民生活との両立~
- ✓ **まち** 結婚・出産・子育ての希望を叶える ~二重の相互扶助の構築による、誰もが住みたい村へ~
- ✓ **くらし** 安心して暮らし続けられる基盤の整備



多様な価値観の 尊重と実践

白川村を想う人づくりと強固な移住定住支援



4 つの 基本目標 2025-2029

数値目標(成果指標)

移住者数 (転入数)

基準値 2014~23年平均

年間 64.7人

目標値

2029年

年間 87人

施策の方向性と主な施策

※本章の全ての施策と具体的な事業は本編P.17~27に記載

1 自発的に活躍できる人づくりと住める場づくり(移住の推進)

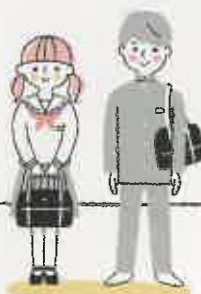
- ✓ 移住者向けのすぐ住める共同住宅(アパート等)を民間と協力して確保する
- ✓ 村のこれからを共に担うUターンを促進する

2 いきいきと活動する人づくり(定住の推進)

- ✓ 同質性と多様性を両立させた村の文化をつくる

3 村と関わり(続け)たい人づくり

- ✓ アントレプレナーシップ教育を充実させる



観光の 「量から質へ」

「産業」としての育成と、観光と住民生活との両立



数値目標(成果指標)

一人当たりの観光消費額

基準値

2022年

日帰り 3,660円
宿泊 25,491円

目標値

2029年

基準値
に対し 120%

日帰り4,400円、宿泊30,600円



施策の方向性と主な施策

※本章の全ての施策と具体的な事業は本編P.29~39に記載

1 未来につなげる産業づくり

- ✓ 六次産業化による「白川郷ブランド」の育成を図り、雇用機会を増大させる
- ✓ 起業など、村内での新たな取組みを推進する

2 働きがいの追求と安心して働ける環境の実現

- ✓ 村民の所得を向上させる

3 観光と住民生活との両立

- ✓ 世界遺産白川郷の景観を保全し、荻町一極集中を緩和する





結婚・出産・子育ての 希望を叶える

二重の相互扶助の構築による、誰もが住みたい村へ

数値目標(成果指標)

出生数

基準値 2014~23年平均

年間 **13.4人**



目標値 2025~29年平均

年間 **15人**



施策の方向性と主な施策

※本章の全ての施策と具体的な事業は
本編P.42~50に記載

1 子育ての希望を叶える

- ☒ 親と子が共に育つ環境をつくる
- ☒ 地域で子どもを育てる取組みを推進する



2 出産の希望を叶える

- ☒ 出産を望む人を支援する(不妊治療助成、出産前後の母子サポートなど)



3 結婚の希望を叶える

- ☒ 結婚を望む人を支援する(結婚に関する情報提供、県の支援機関との連携など)



安心して暮らし続けられる 基盤の整備

数値目標(成果指標)

村民の暮らしの満足度

目標値 2029年

平均 **4.0以上** 5段階評価

施策の方向性と主な施策

※本章の全ての施策と具体的な事業は
本編P.51~58に記載

1 暮らし続けられるための福祉

- ☒ 健康寿命を延伸させる

2 暮らし続けられるための基盤整備

- ☒ 安心して暮らせる生活環境を整備する(防災訓練、ごみの削減など)



3 SDGsの視点を踏まえた村内資源の保全

- ☒ 文化を保護し、継承する(茅の自給率向上、祭りの継承など)

